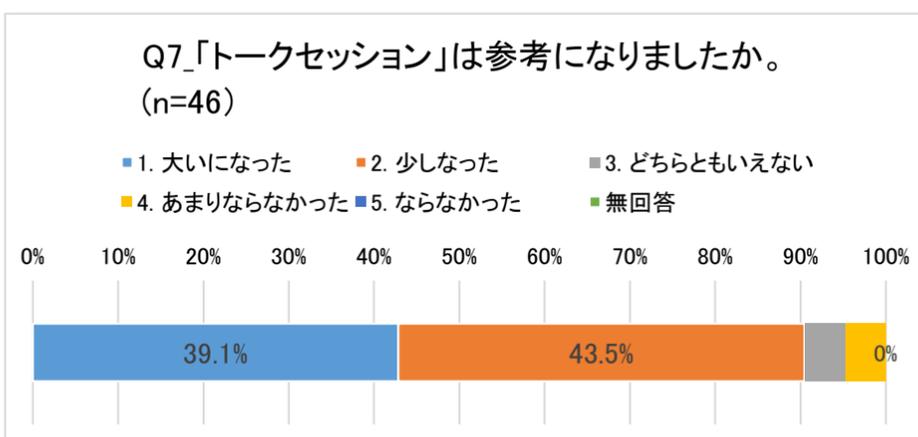
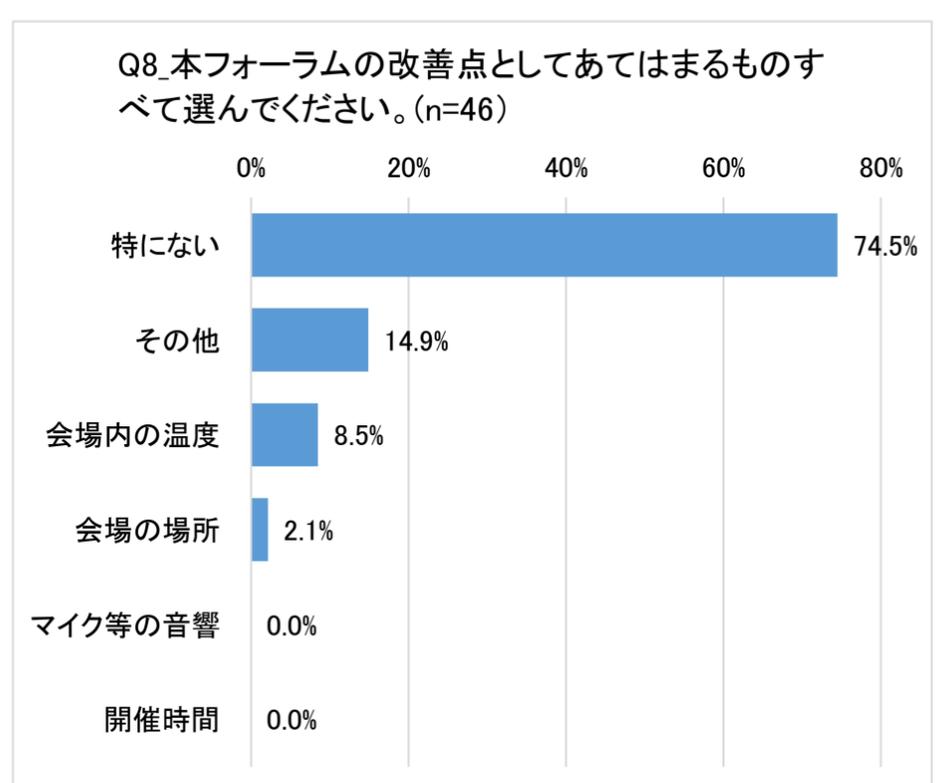
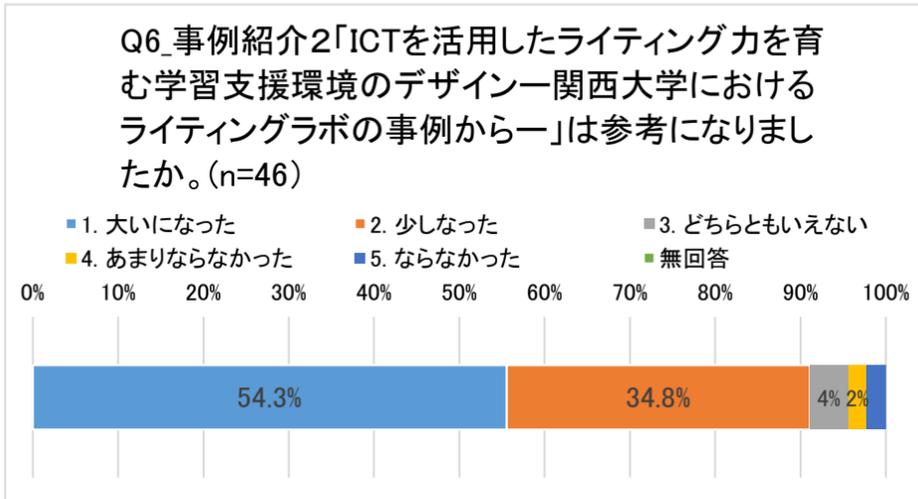
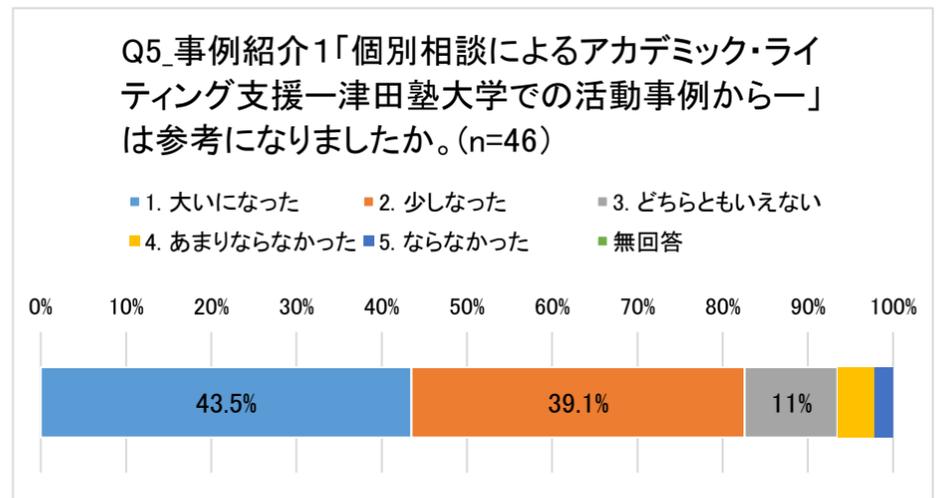
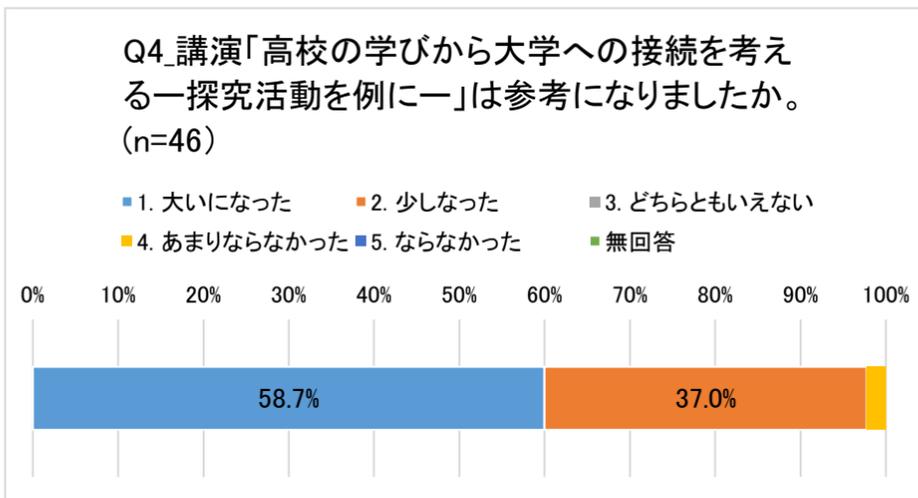
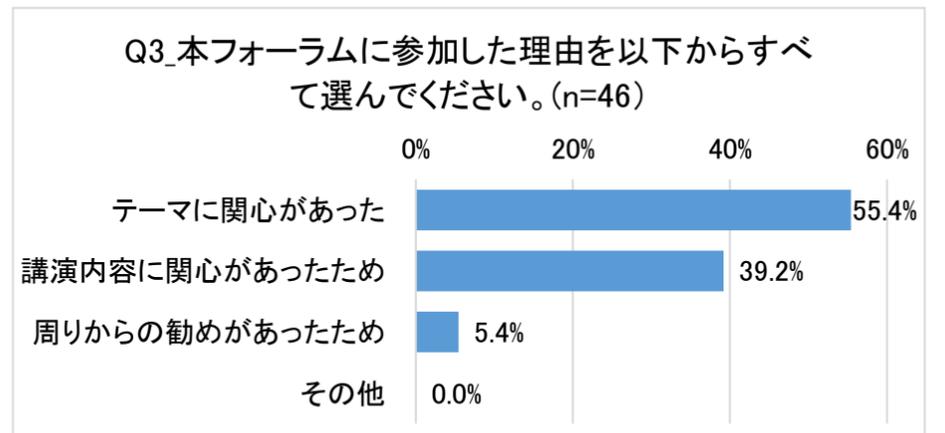
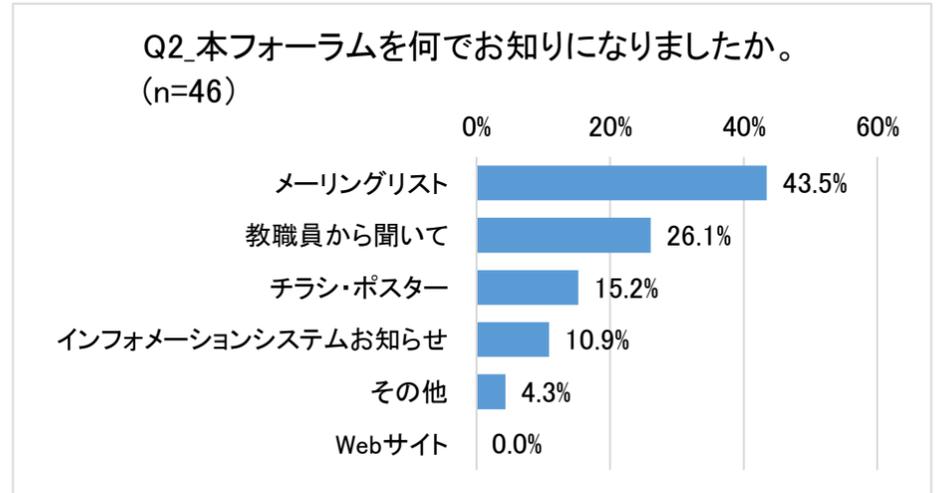
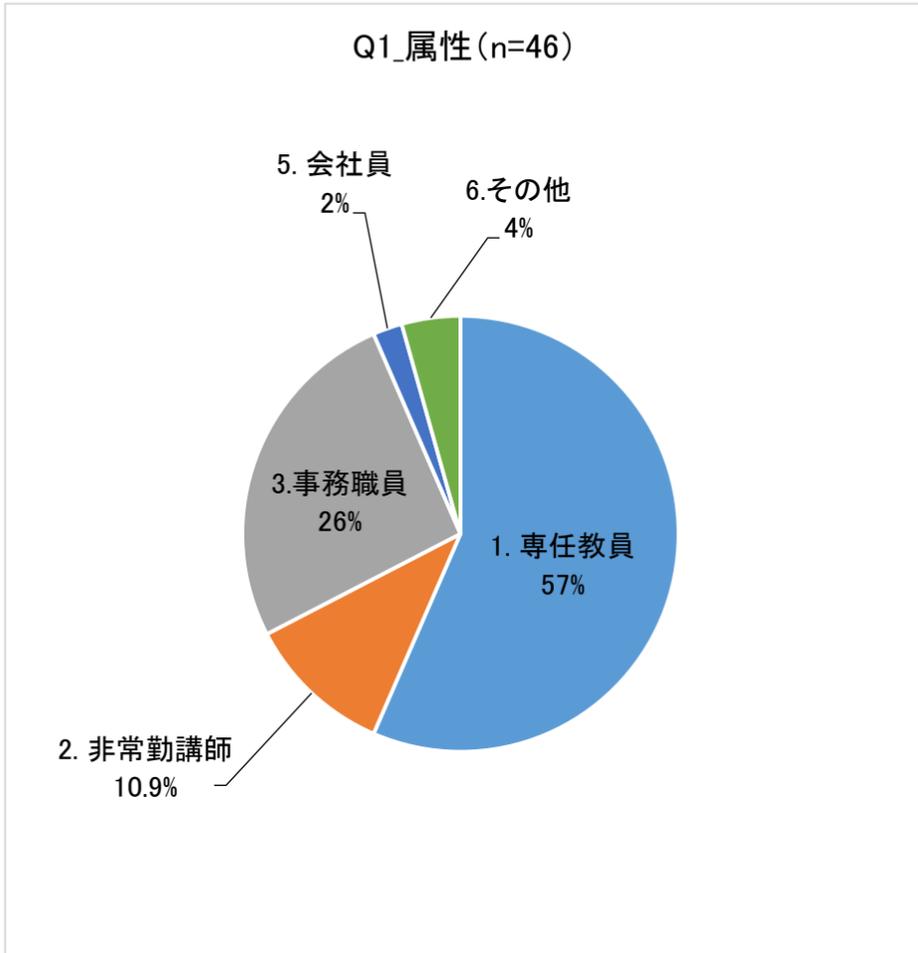


2019年12月14日開催 第22回関西大学FDフォーラム
 「大学におけるライティング支援—高大接続で考えるライティング力の涵養—」
 アンケート集計結果



その他、よかった点、改善すべき点、今後取り上げてほしいテーマなどをご自由にご記入ください。

1	あらかじめ配布資料をダウンロードさせていただければありがたいです。
2	「高大接続で考えるライティング力」というタイトルに惹かれて参加しましたが、高校でできることの要素が少なかつたですし、講演者も「大学の先生の参加を想定していた」とおっしゃっており、主催の狙いと参加者の想定に合わせたタイトルの設定ができていなかったと感じます。
3	パドレットのタイトルは短い方が良い。事例紹介1飯野氏、等。入力する領域が狭くて見づらい。
4	配布資料も事前にいただければよかった。
5	フリーWifi、コメントを入力できるシステムはとてもよかったです。資料に書き込みたいニーズはあると思います。配布用資料を準備頂き、助かりました。
6	全体的に素晴らしかったです。有意義なテーマでフォーラムを開いて下さりありがとうございます。ただいろんな人が聴衆にいるので専門用語的な略語（SSHやPDCAなど）が説明なしで多く出てくるとこちらの勉強不足が問われる中で取り残された感が残ります。
7	大変ありがとうございました。小論文指導など、高校でも書く指導はある程度されていると思いますが、本当には身につけていないのだな、と寂しい気持ちにもなりました。今日いただいたヒントを今後に生かしてまいります。
8	ICUではフゾクと連携していたような？ICUのライティングフォーラムで聞いたような気がします。
9	高校に探求的学びが導入されますが、その教育を指導する教員がどこまで育っているのか、ここが大いに疑問。私の学校は総合学科なので3年生で課題研究を行っているが、教員自身が大学で論文を書いた経験がない人が増えている。大学でのライティング支援は重要と思います。
10	参考になる部分が多かったです。